もっと安心農産物(エコ認証) 冬どり リーフレタス 栽培暦(令和6年度)

1. 土づくり

輪作体系にマリーゴールド・エン麦・ハブエースを作付け、又は完熟堆肥を施用する。

2. 施肥 ☆施肥診断に基づく施肥量の遵守 (化学肥料窒素成分使用量12.5kgまで)

		肥料名	10aの施肥量
基肥		マイルドユーキ030号(10-13-10) 有機態窒素 5.3	240kg/10a以下
		エコレット866(8-6-6) 有機態窒素4.1	300kg/10a以下
		NKマイルド028(10-2-8) 有機態窒素5.3	240kg/10a以下
窒素成分にカウントしない肥料		苦土石灰	土壌分析により 施肥量を加減する
		苦土重焼燐	
		けい酸加里	
		マルチサポート1号	

3. 防除

☆農薬使用成分回数は、7成分回数までに抑える。(5成分まで防除暦に記載済、防除が必要な場合は下記選択農薬より)

☆防除暦の下部に記載されている変更可能な農薬と防除農薬は選択可能とする。

☆化学合成農薬に含まれない農薬は、成分回数にカウントしないが、農薬登録は厳守する。

月	旬	作業	病虫害発生時期	薬剤名	濃度・使用量	対象病虫害	使用時期	備考 (耕種的防除実施等)	
9	上旬		ハスモンヨトウ・オオタバコガ	①D-D	15~20% ¹ /10a	ネコブセンチュウ、ネグサレセンチュウ	作付10~15日前	害虫防除のため育苗床は寒冷紗で被覆	
	中旬	播種						プレバソンの使用方法: セル成型育苗トレイ又は ペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用 土壌約1.5~4L) 当たり0.6L	
	下旬			②プレバソンフロアブル5	100倍 育苗トレイ灌注	オオタバコガ、ネキリムシ類、ハスモンヨトウ、ハモグリバエ類、ヒメフタテンヨコバエ、ヨウムシ	育苗期後半~定植当日		
10	上旬	定植	すそ枯病・べと病		2000倍 散布	オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ハモグリバエ類、ヨウムシ	収穫前日	3回以内	
	中旬			③フォース粒剤	9kg/10a	ネキリムシ類	定植前	ハスモンヨトウは若齢期のうちに防除を実施する	
	下旬			④ウララDF	2000倍	アブラムシ類	収穫前日	2回以内	
11	上旬		アブラムシ	⑤ファンタジスタ顆粒水和剤	2000~3000倍	菌核病、灰色かび病	収穫14日前	3回以内 トンネル被覆前に防除	
	中旬	トンネル被覆		☆変更可能な農薬 ※上記農薬と変更可能					
	下旬			アフェットフロアブル	2000倍	菌核病、すそ枯病、灰色かび病	収穫前日	3回以内	
12	上旬	収穫↓	菌核病	バリダシン液剤5	800倍	腐敗病、すそ枯病、軟腐病	収穫3日前	3回以内	
	中旬			カスミンボルドー	1000倍	腐敗病、斑点細菌病	収穫7日前	4回以内	
	下旬			トップジンM水和剤	1500~2000倍	菌核病、灰色かび病	収穫21日前	2回以内	
1	上旬		※	カンタストライフロアブル	1000~1500倍	菌核病、灰色かび病	収穫14日前	2回以内	
	中旬			パレード20フロアブル	100倍 2000~4000倍	菌核病、すそ枯病 菌核病、すそ枯病、灰色かび病	育苗期後半~定植当日 収穫前日	3回以内 (灌注は1回以内)	
	下旬			フェニックス顆粒水和剤	2000~4000倍	ウワバ類、オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ヨウムシ	収穫前日	2回以内	
1	上旬		※	アドマイヤーフロアブル	4000倍	アブラムシ類	収穫7日前	2回以内	
	中旬			ランマンフロアブル	2000倍	べと病	収穫3日前	3回以内	
	下旬			ピシロックフロアブル	1000倍	べと病	収穫前日	3回以内	
1	上旬		※	グレーシア乳剤	2000~3000倍	アザミウマ類、オオタバコガ、ナモグリバエ、ハスモンヨトウ、ヨウムシ、シロイチモジヨトウ(2000倍)	収穫3日前	2回以内	
	中旬			プロフレアSC	2000~4000倍	ウワバ類、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ、ヨウムシ	収穫前日	3回以内	
	下旬			パダンSG水溶剤	1500倍	アブラムシ類、ナメクジ類、ハモグリバエ類	収穫14日前	2回以内	
1	上旬		※	アフアーム乳剤	1000~2000倍	オオタバコガ、ナモグリバエ、ハスモンヨトウ	収穫3日前	3回以内	
	中旬			コルト顆粒水和剤	3000~4000倍	アブラムシ類	収穫7日前	3回以内	
	下旬			トランスフォームフロアブル	2000倍	アブラムシ類	収穫前日	3回以内	
1	上旬		※	カルホス微粒剤F	6kg/10a	ネキリムシ類	播種又は植付け時	2回以内	
	中旬			バスタ液剤	300~500ml/10a	一年生雑草	収穫30日前	雑草生育期定植前又は畦間処理	
	下旬			☆化学合成農薬に含めない農薬					
1	上旬		※	スピノエース顆粒水和剤	5000倍	オオタバコガ、ヨウムシ	収穫7日前	2回以内	
	中旬			ジーファイン水和剤	1000倍	腐敗病、うどんこ病、白さび病、軟腐病	収穫前日	—	
	下旬			ゼンターリ顆粒水和剤	1000倍	アオムシ、オオタバコガ、コナガ、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ、ヨウムシ	発生初期但し収穫前日	—	
1	上旬		※	エスマルクDF	1000倍	アオムシ、オオタバコガ、コナガ、ヨウムシ	発生初期但し収穫前日	—	
	中旬			ポリオキシンAL水溶剤	2500倍	菌核病	収穫14日前	3回以内	
	下旬			コサイド3000	2000倍	褐斑細菌病、黒腐病、軟腐病、斑点細菌病	—	—	
1	上旬		※	Zボルドー	500倍	腐敗病、褐斑細菌病、黒腐病、黒斑細菌病、軟腐病、斑点細菌病、べと病	—	(野菜類登録)	

※令和5年3月追加

※ プロフレアSCとグレーシア乳剤は同系統剤(IRACコードが同一)のためどちらか選択